

令和5年(2023年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年8月 数量 (トン)	2023年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	北海道産中心の入荷でした。高温の影響もあり、数量はやや増加しました。平均単価もやや高く推移しました。	548	159	106%	103%
2		キャベツ	群馬県産を中心に岩手県産、長野県産の入荷となりました。数量はやや増加し、平均単価かなり高く推移しました。	813	80	103%	123%
3		トマト	暑さが続いた影響で、数量は平年並み、平均単価は高く推移しました。	608	335	99%	84%
4		な す	群馬県産、栃木県産中心の入荷でした。数量はかなり増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	157	325	127%	105%
5		たまねぎ	北海道産、兵庫県産、和歌山県産中心の入荷でした。数量はかなり減少しました。平均単価はかなり低く推移しました。	374	113	75%	78%
6	果 実	西 瓜	主力である三浦市を中心とした県内産地の入荷でした。高温による品質低下で数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	286	241	85%	111%
7		も も	山梨県産、福島県産中心の入荷でした。数量は増加しました。平均単価は高く推移しました。	245	614	117%	112%
8		な し	数量はかなり増加しました。平均単価はやや低く推移しました。	405	430	122%	93%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上